



知念 富信 議員

給食センターを 改築する考えはないか

答 令和9年度に
工事を計画している



問 給食センターは老朽化と狭小により改築の考えはないか。

教育長 令和6年度に基本計画、令和7年度に基本設計、令和8年度実施設計、令和9年度に工事を行う計画がある。

教育総務課長 現在の学校給食共同調理場は、昭和63年に建設され、築35年経過している。現調理場は1,156㎡、新しい調理場は3,700㎡を想定している。

問 生徒増による設備関係、アレルギー設備は充分か。

教育総務課長 現在、学校給食調理場では5,817食を作っている。現設備は最大で6,000食を想定、令和10年度は6,500食必要と推測している。工夫して給食を提供できるように努力したい。

また、アレルギー設備はないが、毎月の食材別アレルギー献立表を作成して保護者、児童生徒で確認、必要なら弁当や代替食で対応している。

問 給食センターは単独による運営が望ましいが広域化の可能性もあるのか。

教育長 令和3年度に与那原町、八重瀬町の近隣3町と広域化運営の調査をしたが、単独運営に決定した。

問 食材費が高騰している。給食費の対策をしているか。

教育長 令和2年度に給食費を改定しているの、現時点の改定はない。



旧社会福祉センターの跡地利用を

問 旧社協は築何年か。また、耐震基準に適應しているか。

副町長 旧社協の建物は、昭和56年3月に完成、築年数は42年になる。旧耐震基準の建築物で危険建物に該当している。

問 土地面積、建物面積を伺う。
副町長 土地面積は5,100㎡、建物は1,494㎡である。

問 旧社協に就労支援センターが入居しているが契約期限はあるか。

副町長 建物の老朽化が激しいため、令和7年3月末までに移転するよう伝えている。

問 旧社協跡地に給食センターの移設は可能か。

教育長 令和2年度に策定した学校給食共同調理場基本方針で示された敷地面積の要件を満たしていないので厳しい。